

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

小学校第6学年原則として全児童

中学校第3学年原則として全生徒

※ 小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

3 調査事項

(1) 教科に関する調査

ア 小学校調査は、国語、算数、理科の3教科とし、中学校調査は、国語、数学、理科の3教科とする。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とする。

(2) 質問調査

ア 学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する児童生徒に対する質問調査、学校に対する質問調査

4 調査方式

悉皆調査

5 調査実施日

(1) 小学校調査

ア 教科に関する調査 : 4月17日(木)(全教科)

イ 児童質問調査 : 4月18日(金)から4月30日(水)までの間

(2) 中学校調査

ア 教科に関する調査 : 4月17日(木)(国語・数学)

4月14日(月)から4月17日(木)までの間(理科)

イ 生徒質問調査 : 理科の調査実施日と同一日

6 調査を実施した学校数及び児童生徒数

	小学校		中学校	
	実施学校数	児童数	実施学校数	生徒数
宇治市	21校	1,339人	10校	1,272人
全国(公立)	18,269校	936,576人	9,272校	871,097人

※ 4月17日に調査を実施した児童生徒

7 IRTについて

今回、中学校理科の問題について、IRTが採用され、CBT (Computer Based Test) で、一人一台端末を使用して実施している。

IRTとは、国際的な学力調査 (PISA、TIMSS など) や英語資格・検定試験 (TOEIC・TOEFL など) で採用されているテスト理論で、この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし (尺度) で比較できる。

IRT (Item Response Theory : 項目反応理論)

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性 (難易度・測定精度) によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。

(全国的な学力調査に関する専門家会議・

全国的な学力調査 CBT 化検討ワーキンググループ合同会議資料より抜粋)

※IRT スコア

IRTに基づいて各設問の正誤パターンから学力を推定し、500を基準とした得点で表すもの。

8 結果概要

(1) 教科に関する調査 (p. 4, 5, p. 10, 11)

①国語科

小学校において、平均正答率の全国との差について、改善傾向が見られる。特に、「読むこと」「話すこと・聞くこと」領域に改善傾向が見られる。

中学校において、平均正答率の全国との差について、前年度より差が開いた。領域別では、「読むこと」について、改善傾向が見られたが、「書くこと」「話すこと・聞くこと」において差が開いている。

同集団における小学校6年から中学校3年への経年比較では、「読むこと」「話すこと・聞くこと」領域で、全国と差において改善傾向が見られる。しかし、「書くこと」においては、差が開いている。

②算数・数学科

小学校では全国の平均正答率をやや下回り、中学校においても平均正答率の全国の差が大きくなっている。

③教科に関する調査結果及び四層別による比較 (p. 6-9)

小学校国語科の四層標準化学力層割合では、全国との差において、C層が昨年より減少し、A層が増加しているが、依然として全国と比べてC層の割合が多い状況にある。

小学校算数科の四層標準化学力層割合では、全国との差において、C層・D層が昨年より増加した。

中学校国語科の四層標準化学力層割合では、全国との差において、C層・D層が昨年より増加した。

中学校数学科の四層標準化学力層割合では、全国との差において、A層の割合が減少し、C層・D層の割合が増加した。

(2) 質問調査

①授業改善に関わる質問項目と国語科の正答率クロス集計 (p. 12)

小・中学校とも、主体的・対話的で深い学びについての質問項目に肯定的に回答した児童生徒ほど、国語科の正答率が高い傾向が見られる。

②授業改善に関わる質問項目 (p. 13, 14)

小・中学校とも、主体的・対話的で深い学びにつながる「授業改善に関わる質問項目 (児童生徒)」では、H31 から概ね肯定的な回答が増えている傾向が見られるが、全国との差が依然マイナスとなっている。

③情報教育にかかわる事項 (p. 15)

ICT 機器の使用頻度を問う質問項目では、小学校においては、「ほぼ毎日」「週3回以上」を合わせた回答割合が増加傾向にあるが、全国平均を下回っている状況となっている。中学校においては、「ほぼ毎日」「週3回以上」を合わせた回答割合が増加傾向にあるとともに、全国平均を上回るなど、活用が進んでいる状況にある。

④第2次宇治市教育振興基本計画に基づく現状値 (p.25)

小・中学校とも、授業時間以外の学習時間を問う質問項目に、「30分より少ない」と回答している児童生徒の割合が全国平均よりも多い状況にある。

9 今後の対応

各校の学力向上の取組アクションプランがより効果的になるよう、本調査の分析を反映し、以下の観点から具体的な取組を進める。

- (1) 「読むこと」の領域については、読書活動の充実等、各校の取組により改善傾向にあり、引き続き取組を継続させる一方で、「書くこと」の領域については、重点的に取り組む必要があることから、今後具体的な対策を検討し、アクションプランでの検討を行う。
- (2) 児童生徒の意欲的な学びを引き出すための、各校の授業改善が具体的に進行するよう、学力・学習状況調査の分析を踏まえて課題を焦点化した「主体的・対話的で深い学び」を進める授業改善の指針を作成する等、各校に対する具体的な指導・支援を行う。
- (3) 特に、中学校において、「国語科」「数学科」の平均正答率の全国との差が広がっており、生徒の実態把握とともに、その要因を分析し、具体的な対応を行う。
- (4) 児童生徒の学習習慣の確立を目指し、取組の実態把握を行い、各校に対する具体的な指導・支援を行う。

10 教科に関する調査結果（小学校）

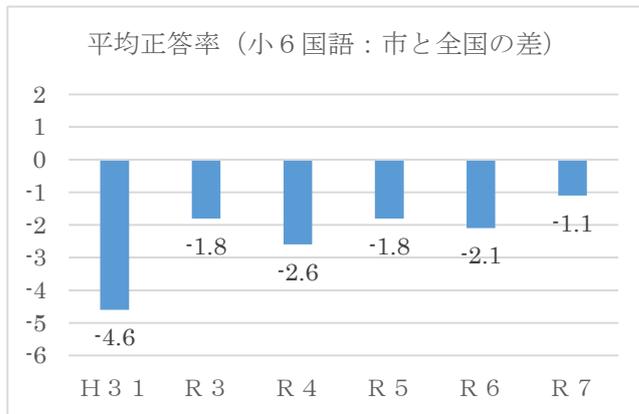
（1）令和7年度調査結果

小学校 教科に関する調査の平均正答率・平均正答数（小学校）

科目	区分	平均正答率（%）	平均正答数/全問数（問）
国語	宇治市（公立）	65.7	9.2/14
	全国（公立）	66.8	9.4/14
算数	宇治市（公立）	57.4	9.2/16
	全国（公立）	58.0	9.3/16
理科	宇治市（公立）	57.0	9.7/17
	全国（公立）	57.1	9.7/17

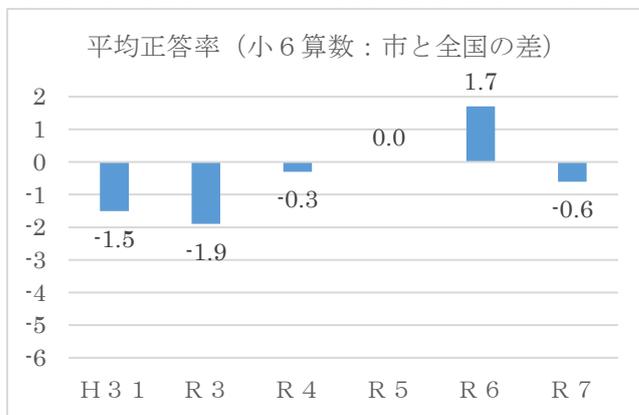
（2）各教科別の調査結果の経年変化

ア 国語（小学校） 過去6年間の国語科平均正答率 市と全国の差推移



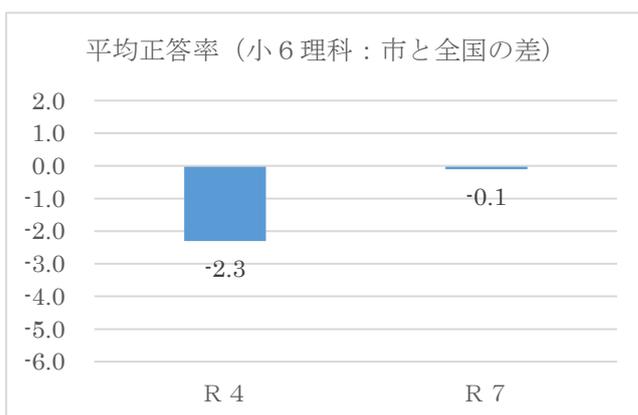
	H31	R3	R4	R5	R6	R7
宇治市	59.2	62.9	63.0	65.4	65.6	65.7
全国	63.8	64.7	65.6	67.2	67.7	66.8
市と国の差	-4.6	-1.8	-2.6	-1.8	-2.1	-1.1

イ 算数（小学校） 過去6年間の算数科平均正答率 市と全国の差推移



	H31	R3	R4	R5	R6	R7
宇治市	65.1	68.3	62.9	62.5	65.1	57.4
全国	66.6	70.2	63.2	62.5	63.4	58.0
市と国の差	-1.5	-1.9	-0.3	0.0	1.7	-0.6

ウ 理科（小学校） 過去2回の理科平均正答率 市と全国の差推移



	R4	R7
宇治市	61.0	57.0
全国	63.3	57.1
市と国の差	-2.3	-0.1

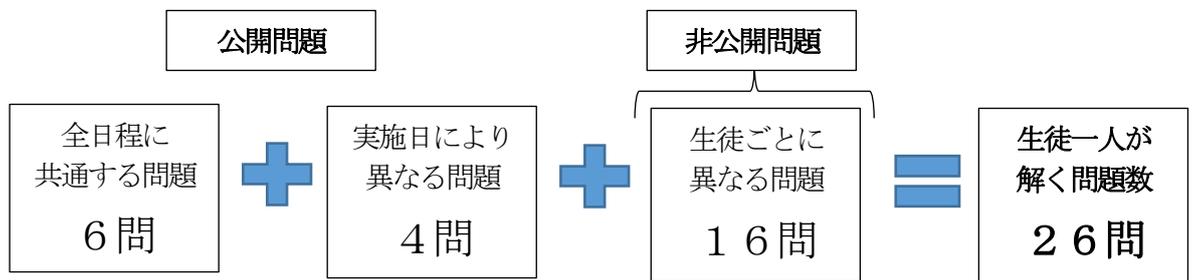
1.1 教科に関する調査結果（中学校）

(1) 令和7年度調査結果

中学校 教科に関する調査の平均正答率・平均正答数

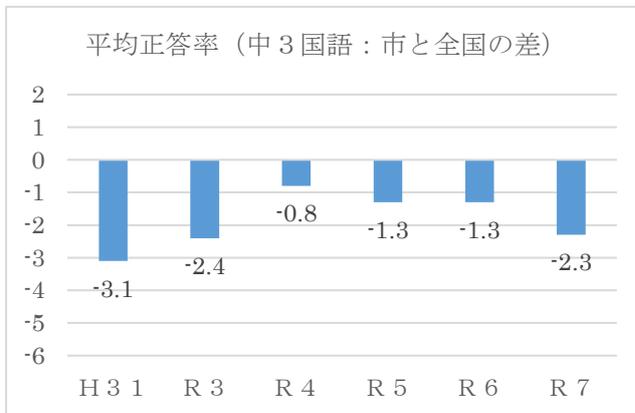
科目	区分	平均正答率 (%)	平均正答数/全問数 (問)
国語	宇治市 (公立)	52.0	7.3/14
	全国 (公立)	54.3	7.6/14
数学	宇治市 (公立)	44.6	6.7/15
	全国 (公立)	48.3	7.2/15

科目	区分	IRT スコア
理科	宇治市 (公立)	476
	全国 (公立)	503



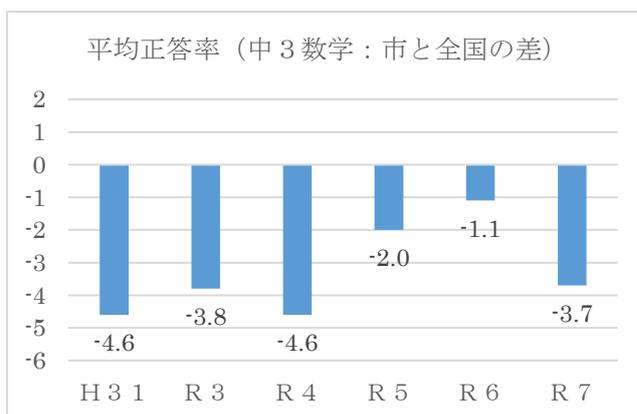
(2) 各教科別の調査結果の経年変化

ア 国語(中学校) 過去6年間の国語科平均正答率 市と全国の差推移



	H31	R3	R4	R5	R6	R7
宇治市	69.7	62.2	68.2	68.5	56.8	52.0
全国	72.8	64.6	69.0	69.8	58.1	54.3
市と国の差	-3.1	-2.4	-0.8	-1.3	-1.3	-2.3

イ 数学(中学校) 過去6年間の算数科平均正答率 市と全国の差推移



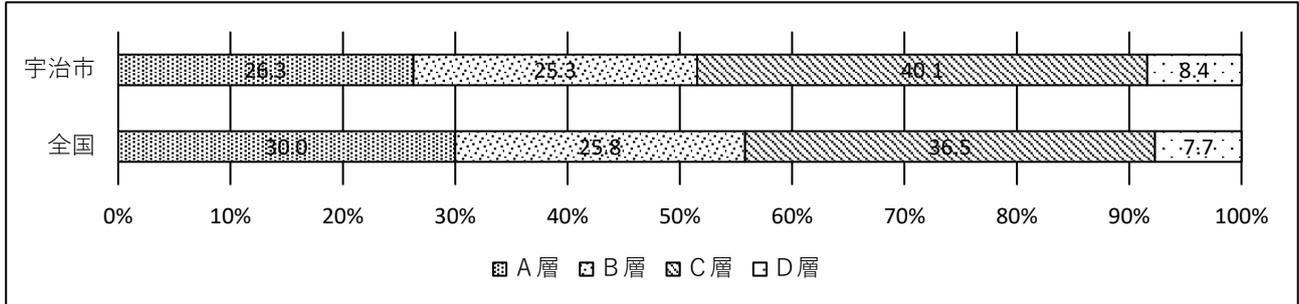
	H31	R3	R4	R5	R6	R7
宇治市	55.2	53.4	46.8	49.0	51.4	44.6
全国	59.8	57.2	51.4	51.0	52.5	48.3
市と国の差	-4.6	-3.8	-4.6	-2.0	-1.1	-3.7

1.2 教科に関する調査結果及び四層別による比較

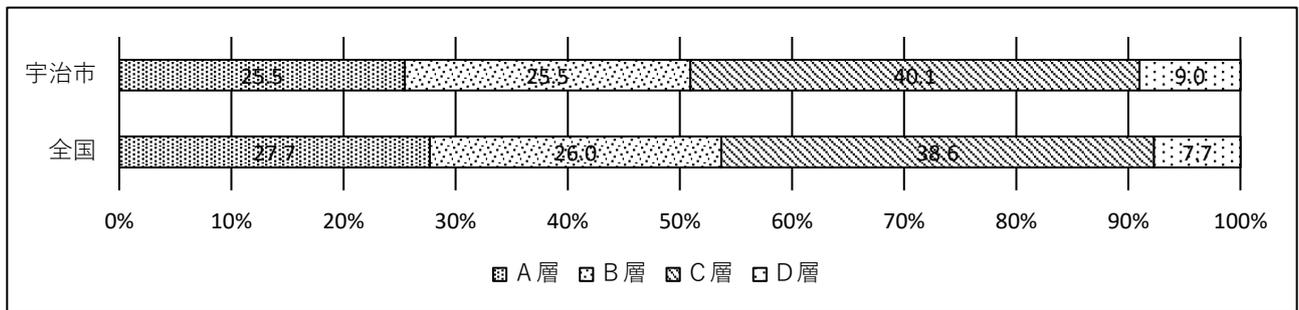
宇治市ではより学力実態を把握しやすい府教委方式に準じた「4層区分」に分けて比較し、分析を進めています。全国学力・学習状況調査の「平均正答数」を規準として、「基準以上」「基準未満」に2分し、同様にそれを2分して上位からA層、B層、C層、D層に分け、それぞれの割合を算出しています。

(1) 小学校国語 四層別割合

令和6年度



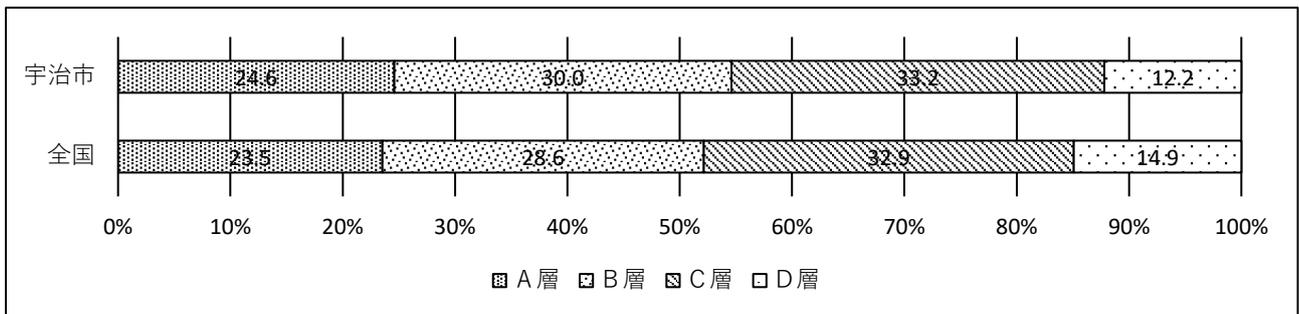
令和7年度



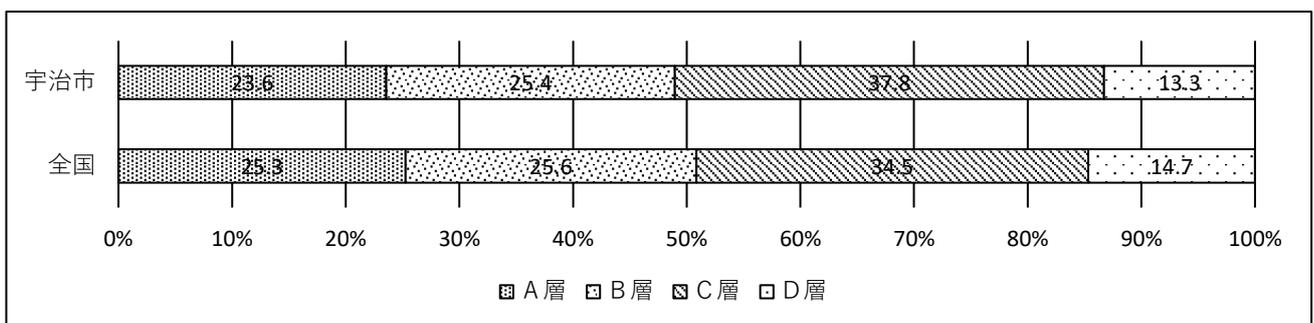
※本年度の小学校国語の出題数は14問であり、全国の平均正答数が9.4問のため、A層は12～14問、B層は10～11問、C層は5～9問、D層は0～4問となります。

(2) 小学校算数 四層別割合

令和6年度

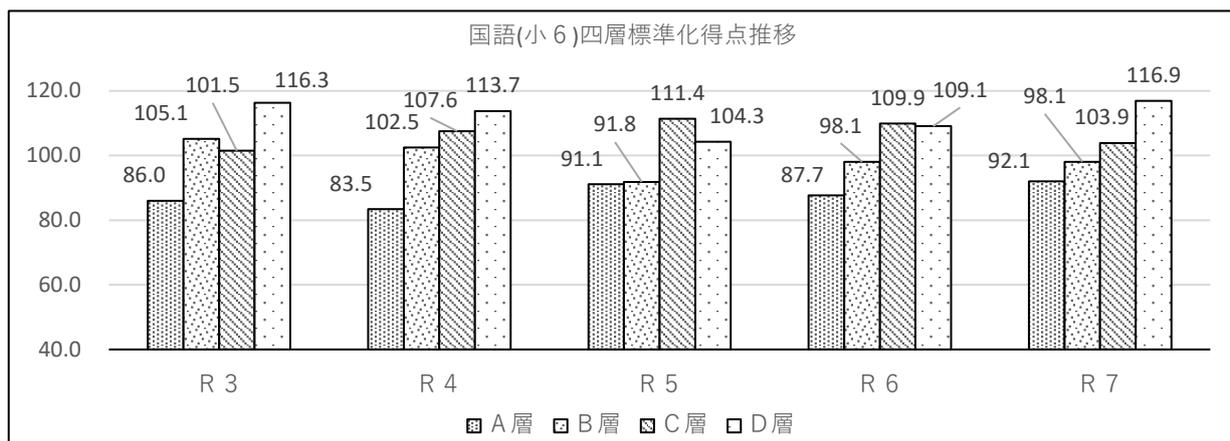


令和7年度

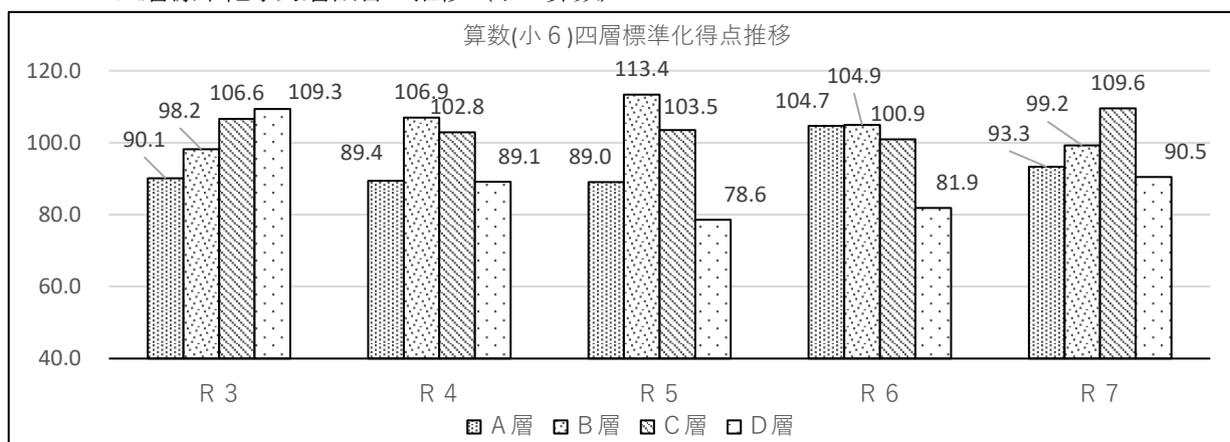


※本年度の小学校算数の出題数は16問であり、全国の平均正答数が9.3問のため、A層は13～16問、B層は10～12問、C層は5～9問、D層は0～4問となります。

四層標準化学力層割合の推移（小6国語）

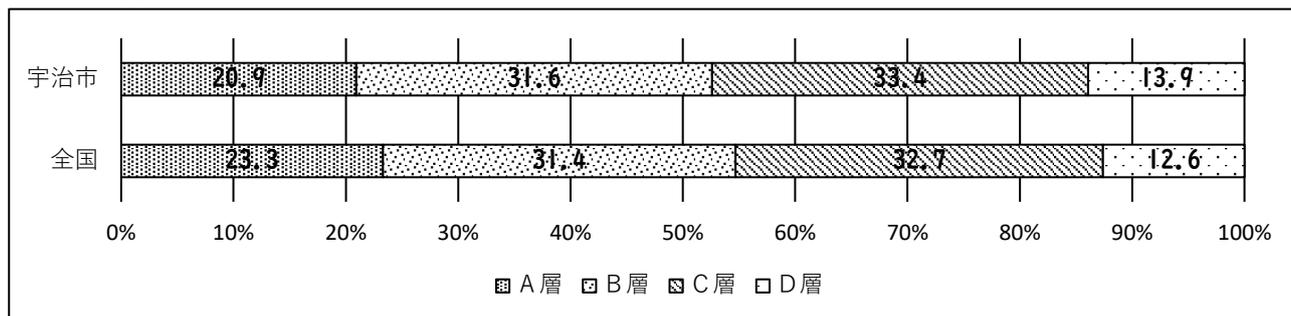


四層標準化学力層割合の推移（小6算数）

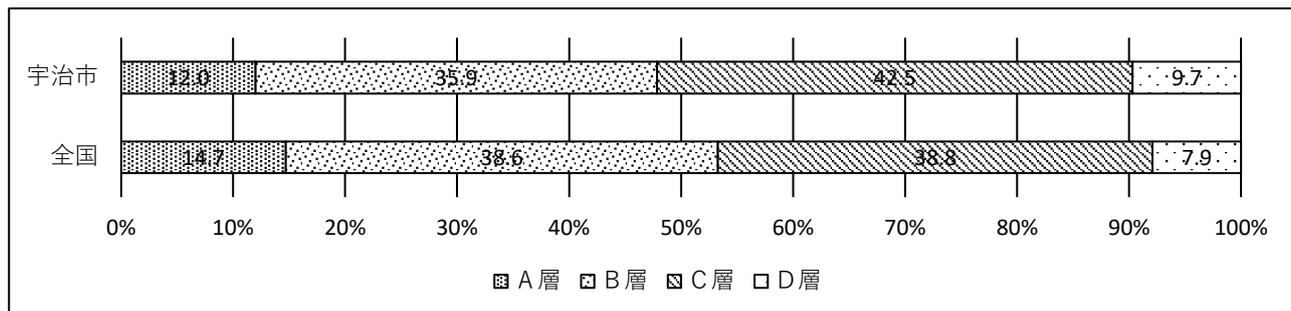


(3) 中学校 国語 四層別割合

令和6年度



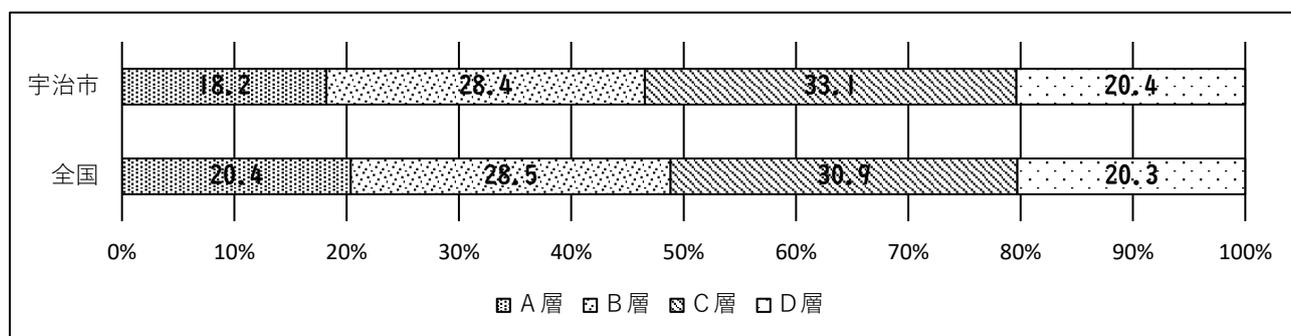
令和7年度



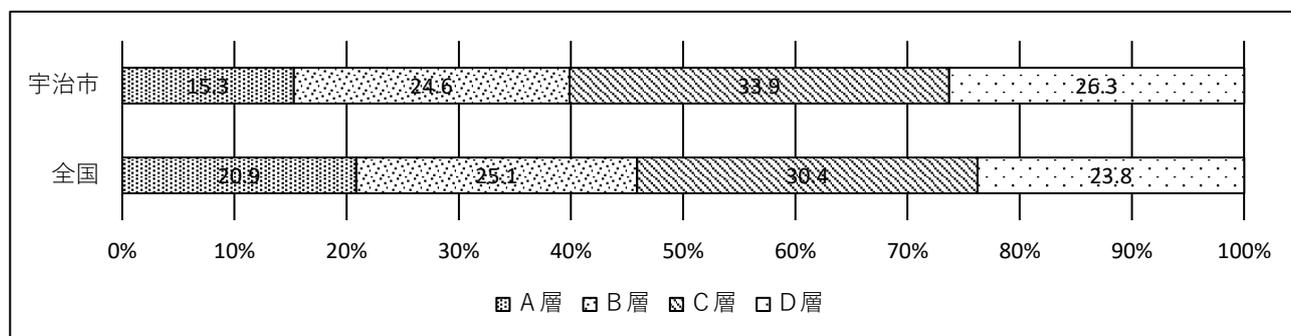
※本年度の中学校国語の出題数は14問であり、全国の平均正答数が7.6問のため、A層は11～14問、B層は8～10問、C層は4～7問、D層は0～3問となります。

(4) 中学校 数学 四層別割合

令和6年度

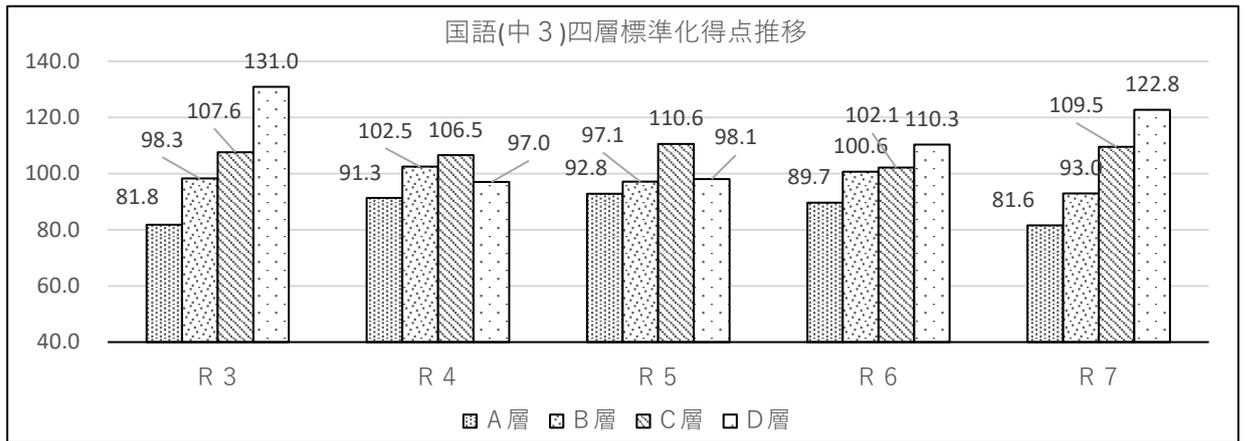


令和7年度

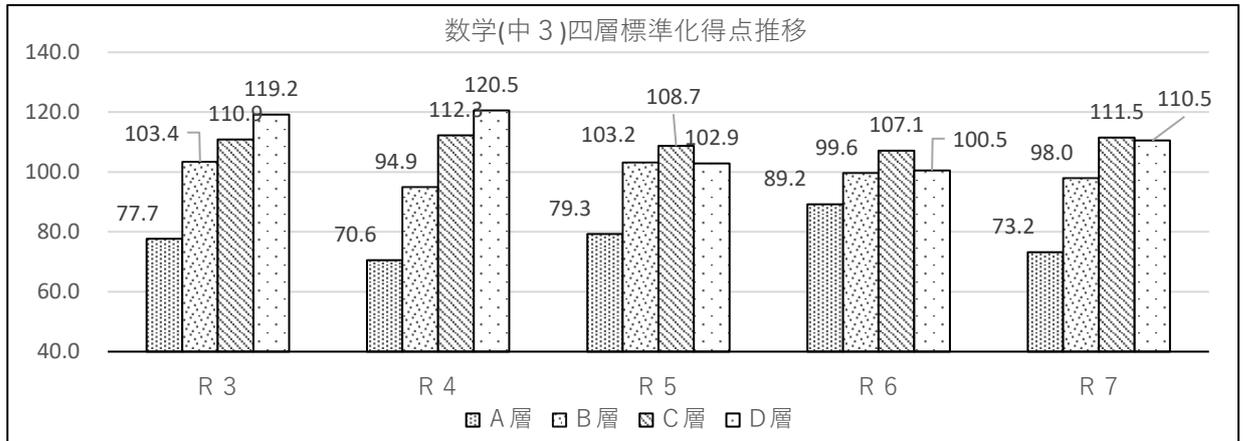


※本年度の中学校数学の出題数は15問であり、全国の平均正答数が7.2問のため、A層は12～15問、B層は8～11問、C層は4～7問、D層は0～3問となります。

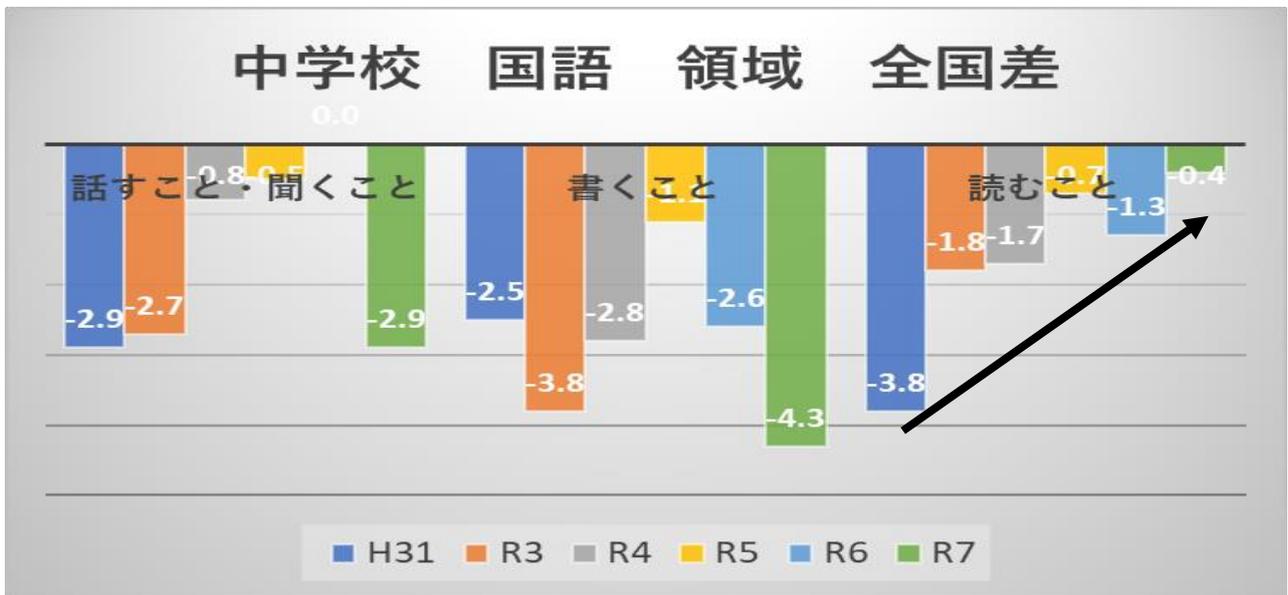
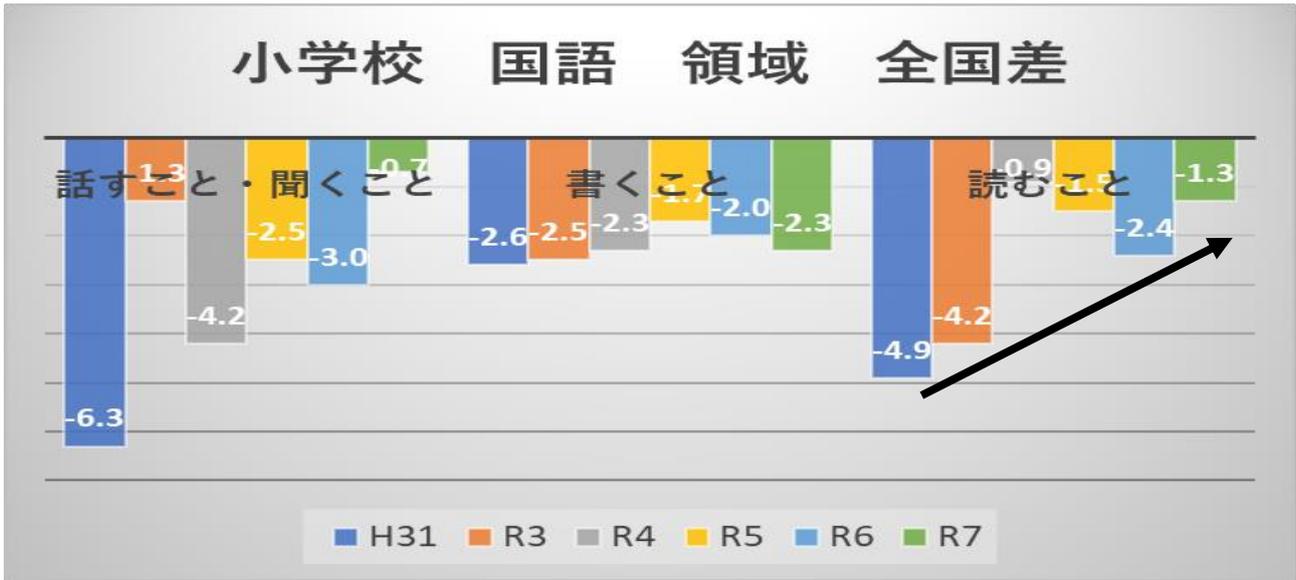
四層標準化学力層割合の推移（中3国語）



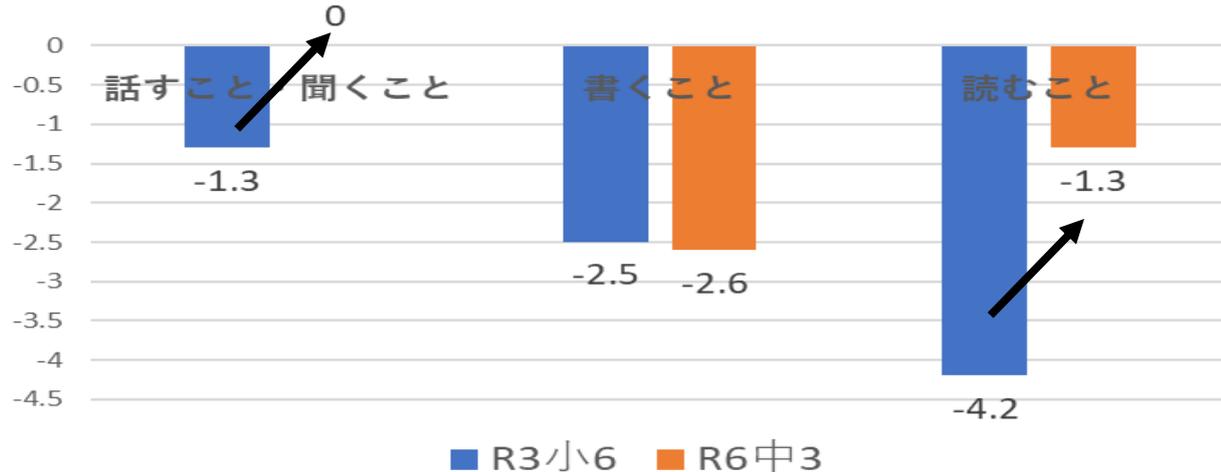
四層標準化学力層割合の推移（中3数学）



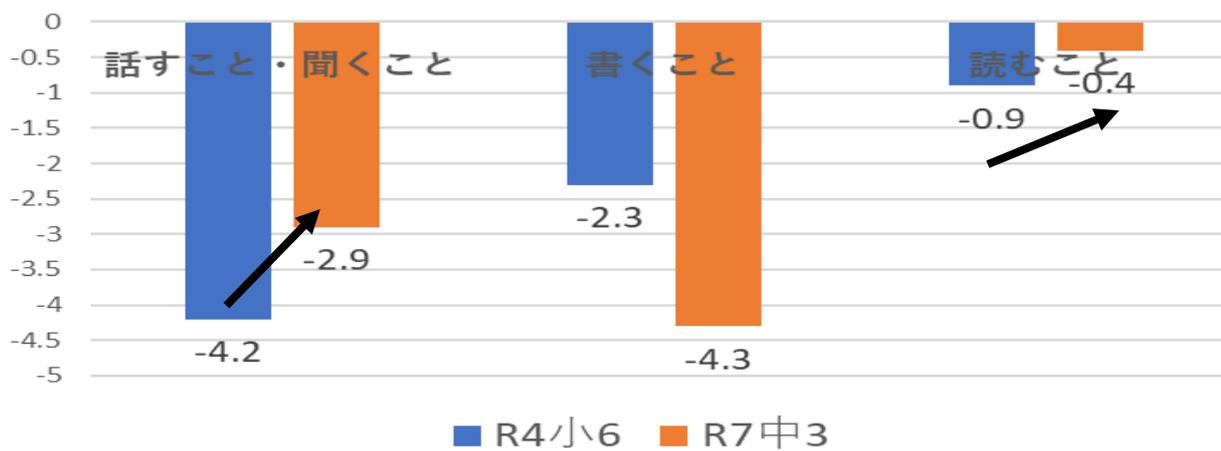
1.3 領域別調査結果 (国語)



R3小6・R6中3学年 国語領域 経年比較



R4小6・R7中3学年 国語領域 経年比較

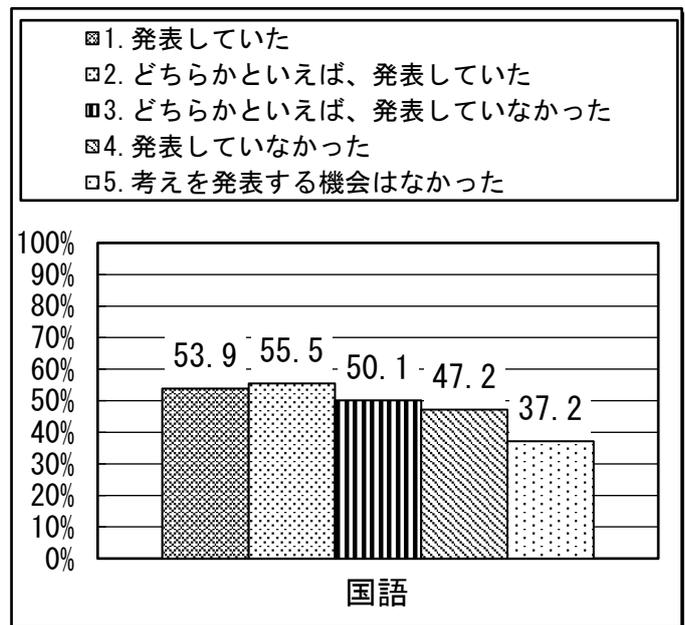
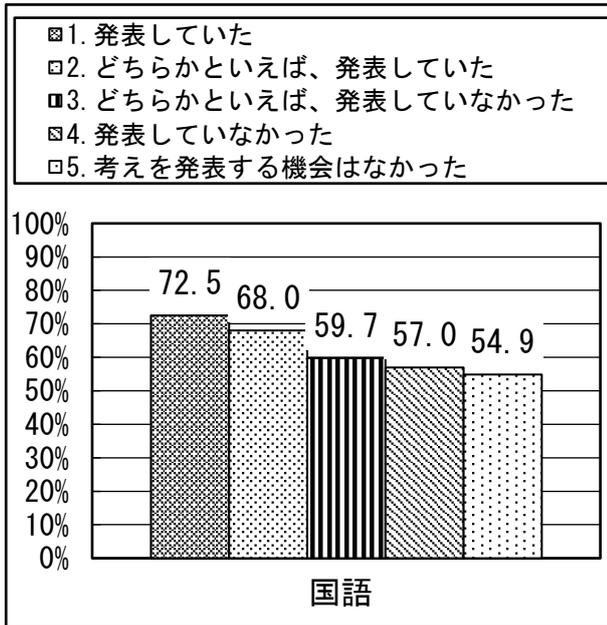


1.4 授業改善に関わる質問項目と国語科の正答率クロス集計 (宇治市 相関係数が高い項目)

(1) 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたか

小学校 (0.233)

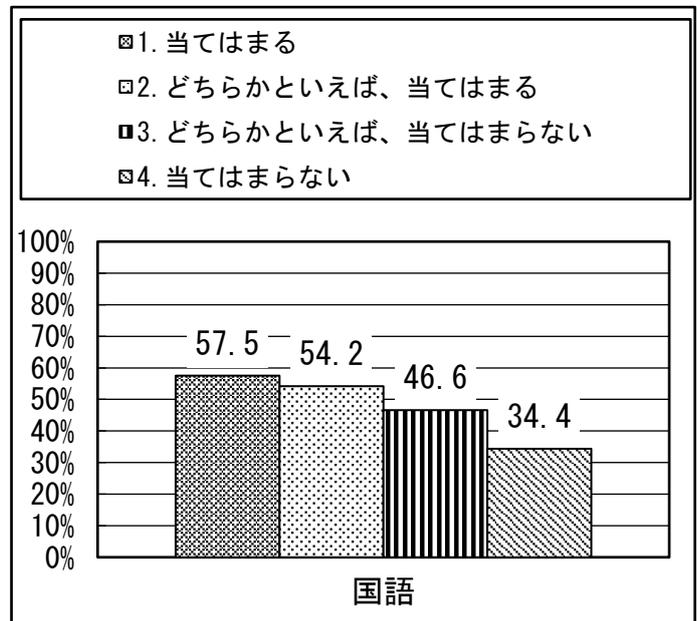
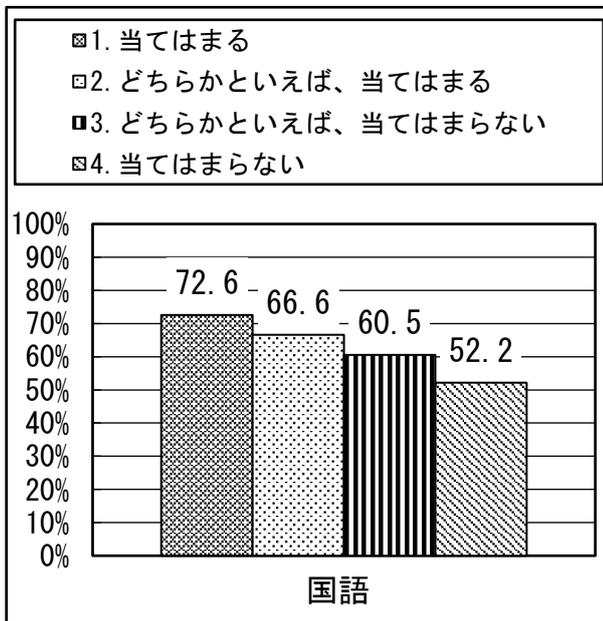
中学校 (0.163)



(2) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか

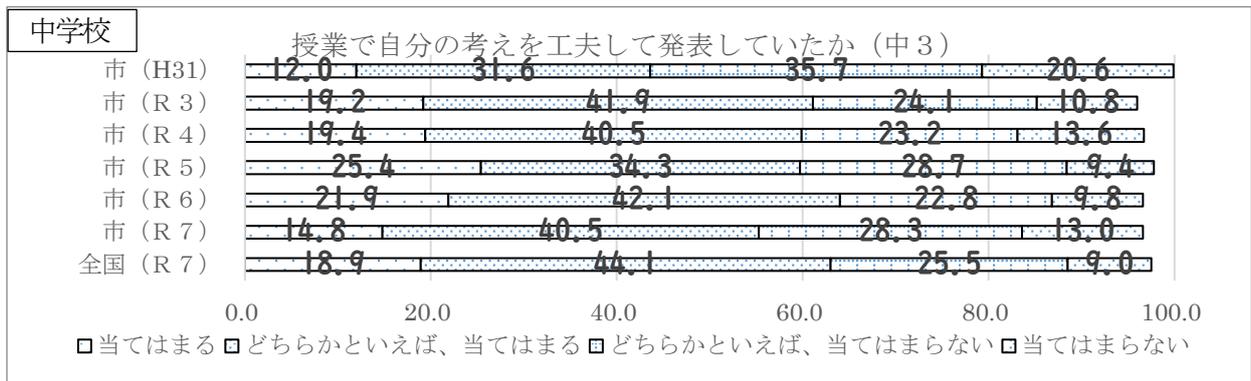
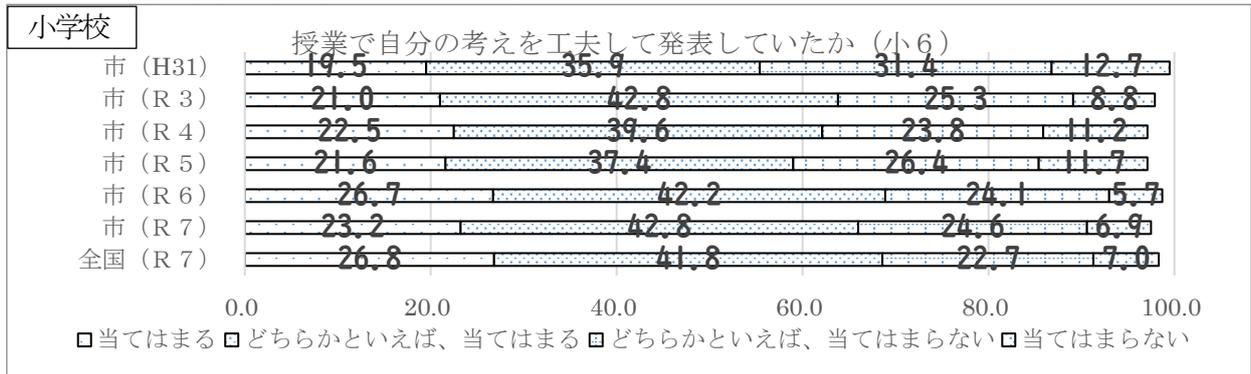
小学校 (0.228)

中学校 (0.239)

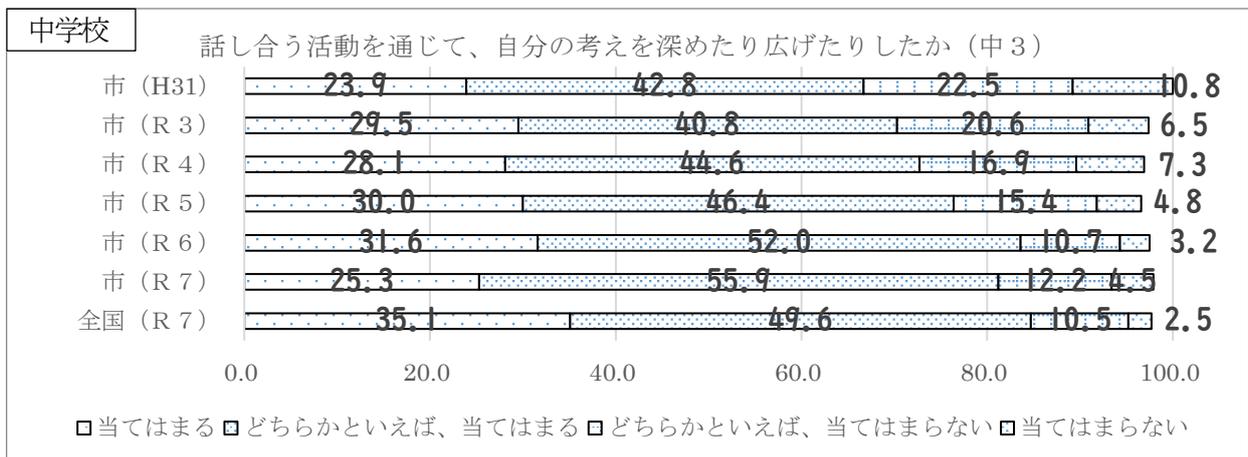
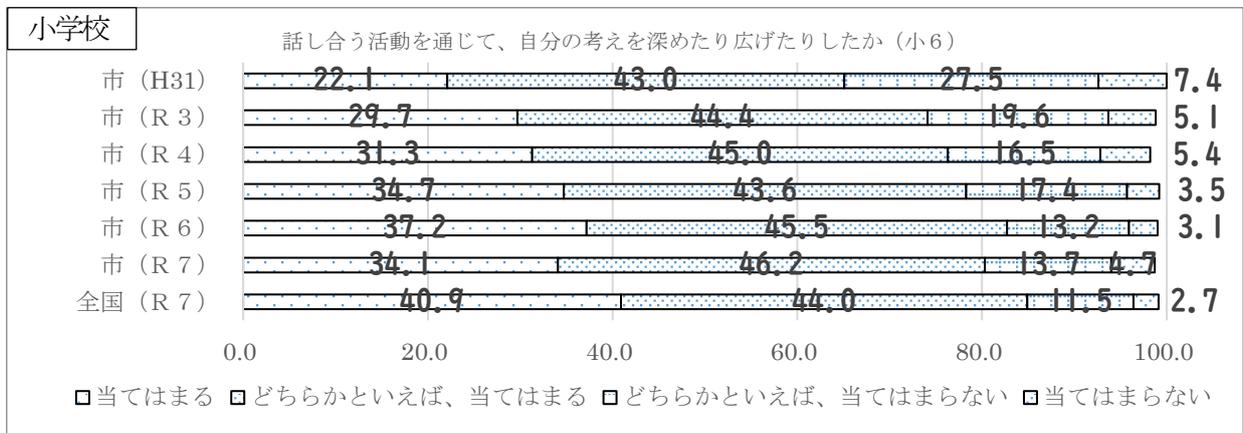


1.5 授業改善に関わる質問項目

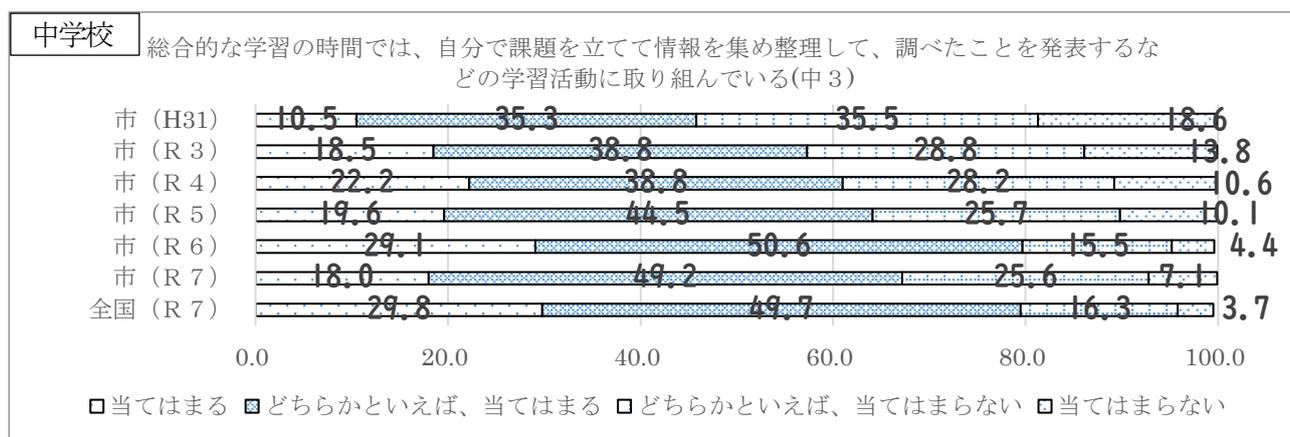
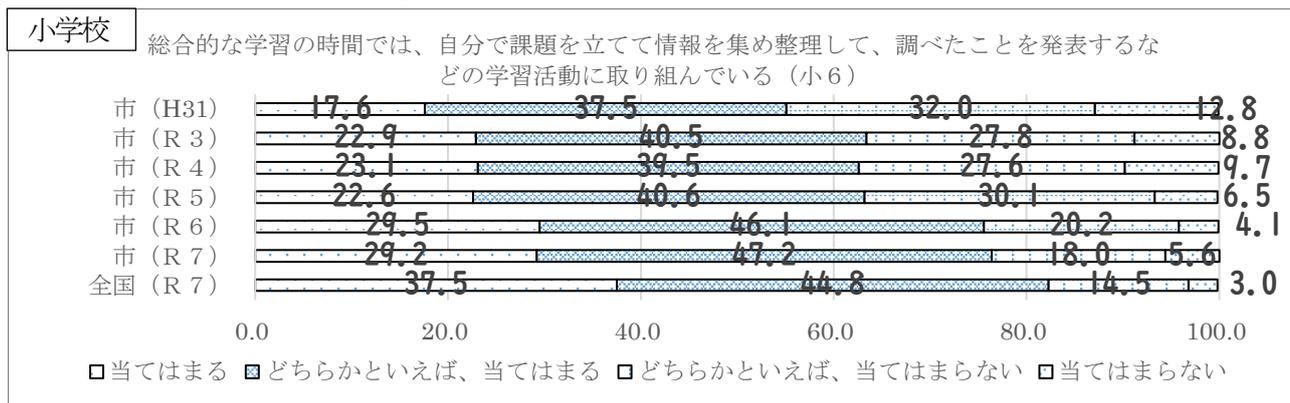
(1) 授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。



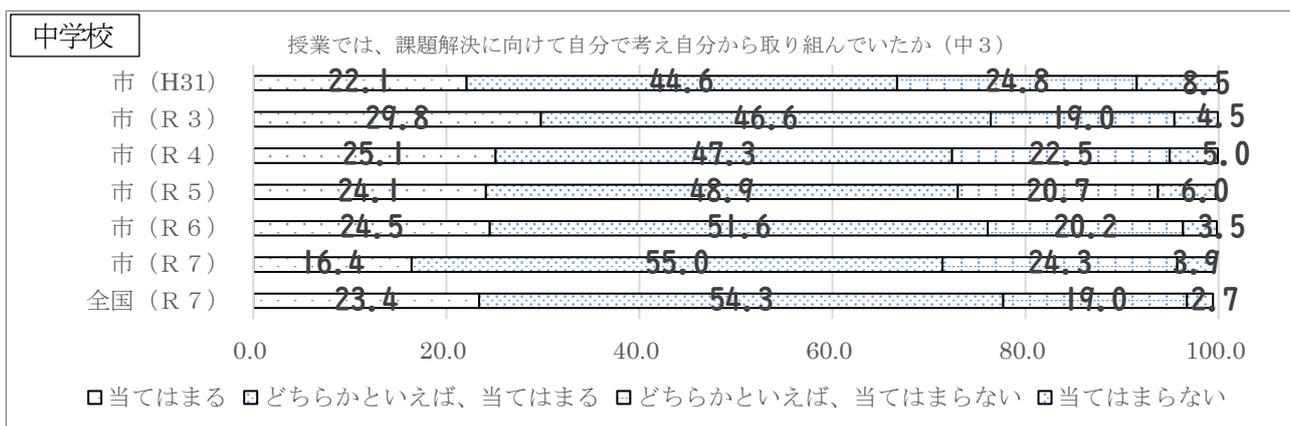
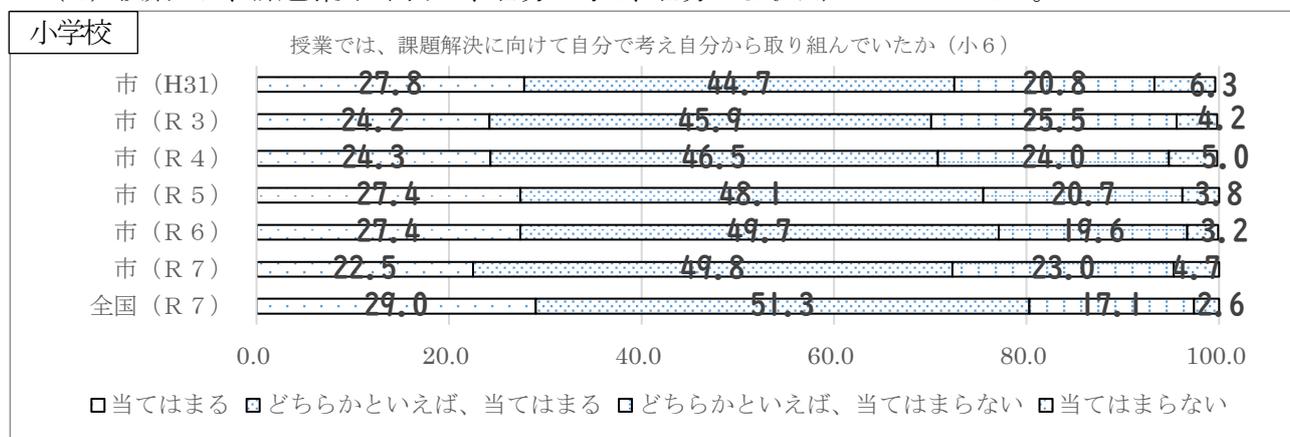
(2) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



(3) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。

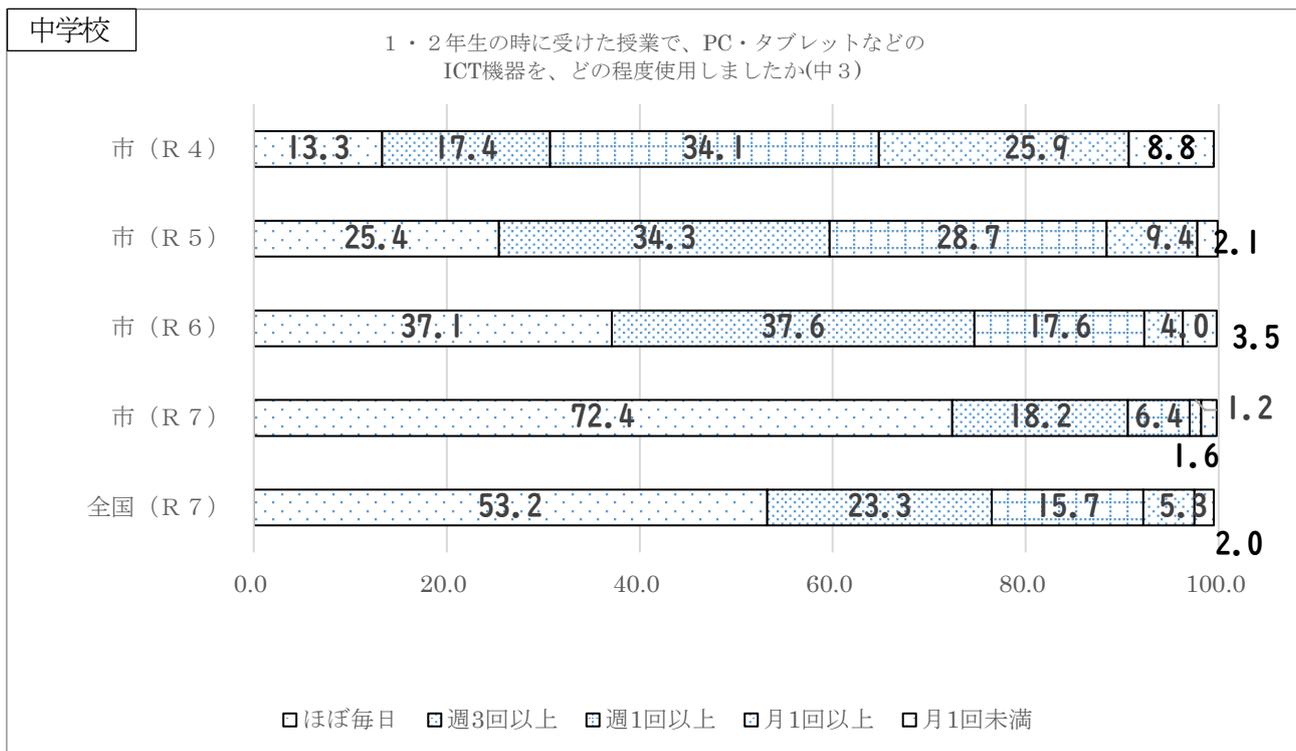
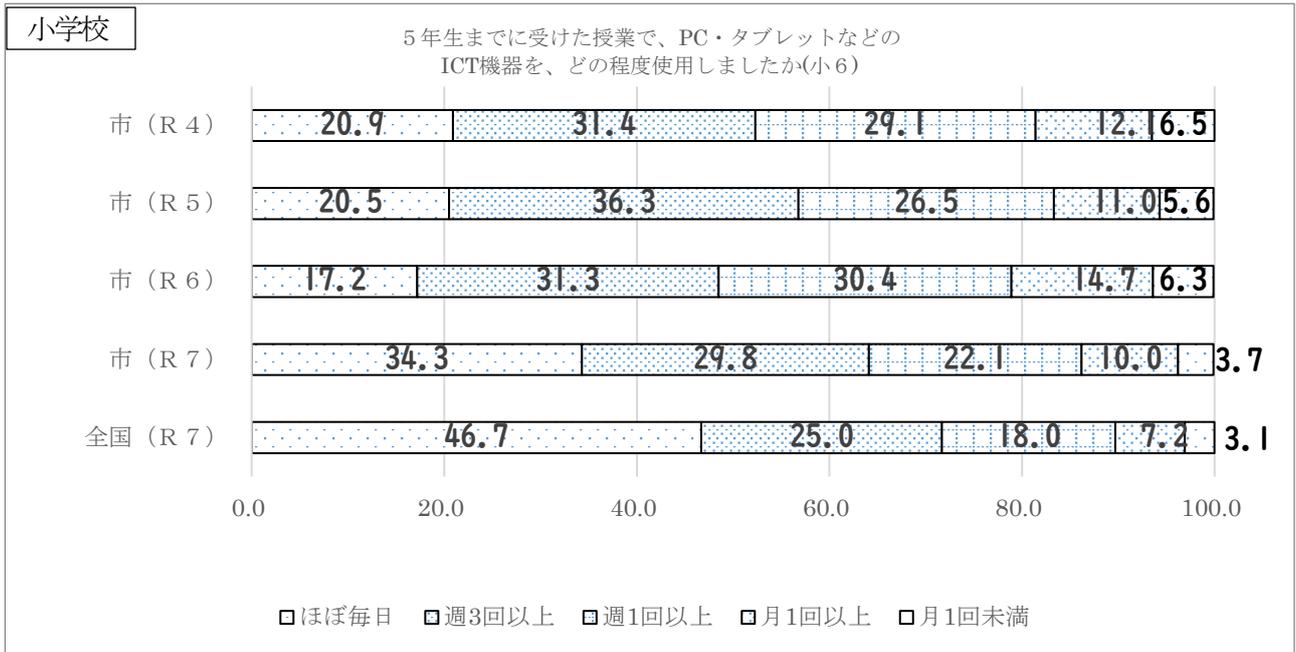


(4) 授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



1.6 情報教育にかかわる事項

○ 授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか。



17 課題のある問題

小学校 国語

書くこと 問題番号2三

市平均57.7 全国平均61.3 差-3.6

【ちらし】

手ぬぐい



手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。
そのよさとは、どのようなものでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、すきなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。



季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。



しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

イあつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

2

山田さんの学級では、伝統工芸品について詳しいせんするちらしを書くことにしました。山田さんは、手ぬぐいのよさについて詳しいせんする文章を、次の【ちらし】に書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

問題番号	問題の概要	解答類型						
		1	2	3	4	5	99	無解答
2三	【ちらし】の二重傍線部を、 【調べたこと】を基に詳しく書く	<u>57.7</u>	0.6	10.4	13.1	8.8	4.9	4.6
		<u>64.7</u>	0.4	8.3	12.5	6.6	3.4	4.1
		<u>61.3</u>	0.5	8.7	12.7	7.9	4.0	5.0

※1段目：宇治市の割合 2段目：京都府の割合 3段目：全国の割合

(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【ちらし】の二重傍線部を書き直し、詳しくしている。 ② 【調べたこと】のうち、以下のことから言葉や文を取り上げて書いている。 a 〈本を読んで分かったこと〉 b 〈使ってみて分かったこと〉 ③ 60字以上、100字以内で書いている。		
1	◎	条件①、② a、bの両方、③を満たしているもの
2		条件①、② a、bの両方は満たしているが、条件③は満たしていないもの
3		条件①、② aは満たしているが、条件② bは満たしていないもの * 条件③を満たしているかどうかは不問とする。
4		条件①、② bは満たしているが、条件② aは満たしていないもの * 条件③を満たしているかどうかは不問とする。
5		条件①は満たしているが、条件② a、bは共に満たしていないもの * 条件③を満たしているかどうかは不問とする。
99		上記以外の解答
0		無解答

○友達同士で書いた文章を見せ合い詳しくする方法を話し合ったり、児童が用いた方法を教師が価値付けたりすることが大切

○ 学習全体を通して、「こんなことを書きたい」や「こんなふうに表したい」といった児童一人一人の思いに沿って、児童自らが学習を進めていけるようにすることが大切

◇ 山田さんの学級では、伝統工芸品について推薦する文章を書くという学習を行っています。山田さんは、【ちらし】の書き表し方について友達に相談しています。

山田さん
ブックカバーやペットボトルカバーを思い浮かべて書いたんだけど、確かに、このちらしを初めて読む人には伝わらないな。

佐藤さん
もう調べてあることもあるんだね。ここの部分を詳しく書いてくれると、このちらしを読む人が、手ぬぐいをもっと使ってみたいと思ってくれるんじゃないかな。

なるほど。確かに分かりにくいな。この部分を詳しく書き直してみよう。でも、どう書き直していいか分からないな。

ありがとう。その部分を書き直してみようと思うんだけど、二人のちらしを見せてもらってもいいかな。

大沢さん
私は、「例えば」という言葉を入れて、筆が使われている他の具体例を付け加えるという方法で、詳しくしてみたの。

筆は、字を書く以外にも使われています。例えば、化粧用の筆として使われることもあり、日本の化粧筆は、世界で評価され、国際的にみとめられています。

ばくは、いくつかある「美しさ」を「さまざまな」という言葉でまとめたので、その中身をはっきり示して書くという方法で、詳しく書いてみたよ。

せんすにはさまざまな美しさがあります。花や動物、風景など自然をテーマにした絵がらや伝統もようを用いた美しいものがあります。また、和紙だけでなく、シルクやレースが使われた洋風の美しさをもつものもあります。

友達同士で書いた文章を見せ合い、詳しくする方法を話し合う時間を設定する。

大沢さんは、筆の字を書く以外の使い方を具体例として付け加える方法を、佐藤さんは、複数ある美しさの中の要素を、明示して説明する方法を伝えられているな。二人のよさを価値付けながらも、山田さんの文章のよさを生かしてほしいな。働き掛けてみよう。

教師
大沢さんも佐藤さんも別々の方法ですが、詳しくすることで自分の伝えたいことを書き表すことができますね。山田さんもあなたの文章に合う方法で詳しくしてみようでしょうか。

児童が用いた方法を教師が価値付けることが大切

二人が教えてくれた詳しくする方法は、私の文章でも使えそうだな。特に佐藤さんの方法は、私の文章の中の「いろいろな」という言葉を詳しくするために参考になりそう。「何を」「どのように」包むのかなど、具体例を入れながら詳しくしてみよう。

私の文章のよさは、二人が言ってくれたように、手ぬぐいの二つのよさをまとまりごとに書いていることだったな。この構成のまとまりを生かしたいな。

二人の方法を取り入れながら、今の構成のまとまりを生かした方法で、書き直してみようと思います。

学習全体を通して、「こんなことを書きたい」や「こんなふうに表したい」といった児童一人一人の思いに沿って、児童自らが学習を進めていけるようにすることが大切

中学校 国語
書くこと 問題番号1四
市平均24.8 全国平均31.0 差-6.2

【ちらし】(更新版②)

第一中学校 美術展



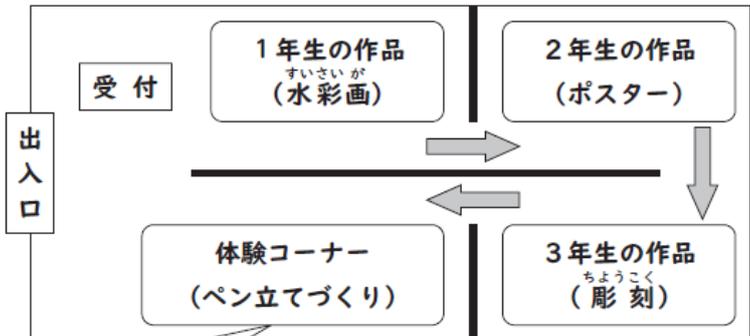
毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。

日時 令和7年11月15日(土) 10時~16時

場所 第一中学校 体育館

会場図



体験できる時間 (各回30分間)

①10時~ ②11時~ ③12時~ ④13時~

中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

第一小学校6年生のみなさんへ

四 今年の美術展では、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを【ちらし】(更新版②)の の部分に書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 今年の美術展の【工夫】のA、Bから1つ選び（どちらを選んでもかまいません。）、それと結び付く小学生の【感想の一部】をアからウまでの中から1つ選び、それぞれ塗りつぶすこと。

条件2 条件1で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指示する語句を使って書くこと。

【工夫】

- A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者の求めに応じて説明する。
- B 昨年はおみやげにしていたペン立てを、今年は体験コーナーを設けて、小学生につくってもらう。中学生は、美術の時間に学んだことを生かし、手助けや助言をする。

【感想の一部】

- ア どうやってあんなすばらしい作品をつくったのか知りたくなりました。美術でどんなことを学べるのが楽しみです。
- イ いろいろな作品が展示されていて楽しかったです。思いのこもった作品が多いように感じました。
- ウ おみやげにペン立てをもらえてよかったです。手づくりだと聞いてびっくりしました。私もつくってみたいです。

【工夫】

【感想の一部】

A B

ア イ ウ

← 選んだ【工夫】と【感想の一部】の記号を塗りつぶしなさい。

第一小学校6年生のみなさんへ

【解答例】

【工夫】 A 【感想の一部】 ア

昨年の来場者から、どうやって作品をつくったのか知りたくなったという感想をもらいました。そこで、今年中学生が作品について説明します。気になる作品があったら、ぜひ中学生に質問してください。

問題番号	問題の概要	解答類型				
		1	2	3	99	無解答
1四	ちらしの読み手に向けて、今年の美術展の工夫について伝える文章を書く	24.8	6.4	0.2	67.4	1.2
		33.4	8.4	0.2	56.8	1.3
		31.0	8.2	0.2	59.0	1.6

※1段目：宇治市の割合 2段目：京都府の割合 3段目：全国の割合

<p>(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【工夫】のいずれか一方と、【感想の一部】のいずれか一つを選んで、選んだ記号を塗り潰している。 ② 選んだ【工夫】に結び付く【感想の一部】を選んでいる。 ③ 選んだ【工夫】の内容と【感想の一部】の内容を適切に取り上げて書いている。 ④ 接続する語句や指示する語句を用いて、選んだ【工夫】と【感想の一部】とを適切に関係付けて書いている。</p>		
1	◎	条件①、②、③、④を満たして解答しているもの
2		条件①、②、③を満たし、条件④を満たさないで解答しているもの
3		条件①、②、④を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの
99		上記以外の解答
0		無解答

- 自分の考えを詳しく書くだけでなく、その根拠となる事実や事柄を示す必要
- 自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確認することが必要
- 接続する語句や指示する語句を用いるなどして、伝えたい事柄とその根拠とを適切に結び付けたり、事実や事柄を具体的に示したりして書くよう指導することが大切。

皆さんいろいろな書き方で書いていますね。書き方の例をいくつか示します。読み手に納得してもらうための書き方として、それぞれのよい点や不十分な点はどこか考えてみましょう。

【書き方の例】

㉗ 昨年度の新入生説明会では、普段の授業の様子を知りたいという感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。	㉘ 昨年度の新入生説明会では、学校行事についての感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。
㉙ 今年度の新生説明会では、学校行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。例えば、体育祭の学級対抗リレーが盛り上がっている様子を見せることにはどうか考えました。	㉚ 昨年度の新入生説明会では、学校行事について、小学校との違いが分からなかったという感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

自分の考えを詳しく書くだけでなく、その根拠となる事実や事柄を示す必要

【生徒の話し合いの例】

㉗は、何をするかはよく分かりますが、どこからそう考えたのかが不十分なので納得できません。㉘はどこからそう考えたのかが分かるので、納得できると思います。

でも、㉗は、行事の動画を見せるという提案をしているけれど、取り上げている「授業の様子を知りたい」という感想はこの提案に結びついていませんよ。

㉘は、着目した感想は述べているけれど、どのような感想が分からないので、この提案でよいのかよく分かりません。

㉘は、取り上げた感想と提案がきちんと結び付けているし、感想の内容もよく分かるので、読み手も納得できそうですね。

自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確認することが必要

そうですね。㉘は、自分の考えだけでなく、その根拠を具体的に書いているので、納得できそうですね。でも、もう少し読み手が理解しやすいように書くためには、前の文と後の文の関係をはっきりと示したほうがいいですね。㉘に、どのような言葉を入れると分かりやすくなりますか。

「今年度は、」の前に「そこで」や「だから」など、前の文と後の文をつなぐ言葉を入れるとよいと思います。

【修正の例】

㉘ 昨年度の新入生説明会では、学校行事について、小学校との違いが分からなかったという感想がありました。そこで、今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

読み手に納得してもらうためには、自分の考えを詳しく書くだけでなく、その根拠となる事実や事柄を示す必要がありますね。また、その根拠を明確に示すために、自分の考えと根拠との関係を表す言葉を使って書くことも大切ですね。このような視点で自分の文章を見直しましょう。

接続する語句や指示する語句を用いるなどして、伝えたい事柄とその根拠とを適切に結び付けたり、事実や事柄を具体的に示したりして書くよう指導することが大切。

1.8 第2次宇治市教育振興基本計画に基づく現状値

(1) 教科に関する現状値

第2次宇治市教育振興基本計画では、全国学力・学習状況調査の「受験者数」を25%ずつに区分し、その区分の境にある正答数を規準として上位からA層、B層、C層、D層に分け、それぞれの割合を算出し、現状値及び目標値を設定しております。

※現状値は、各年の宇治市のC層・D層の割合、目標値は、各年の全国のC層・D層の割合としています。

① 小学校6年

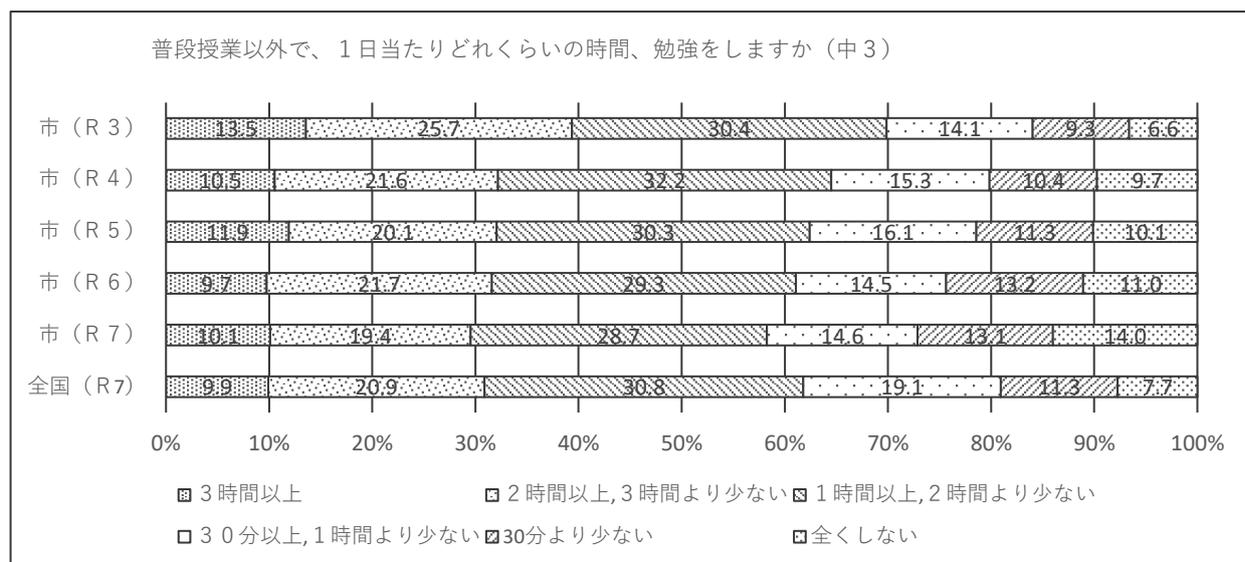
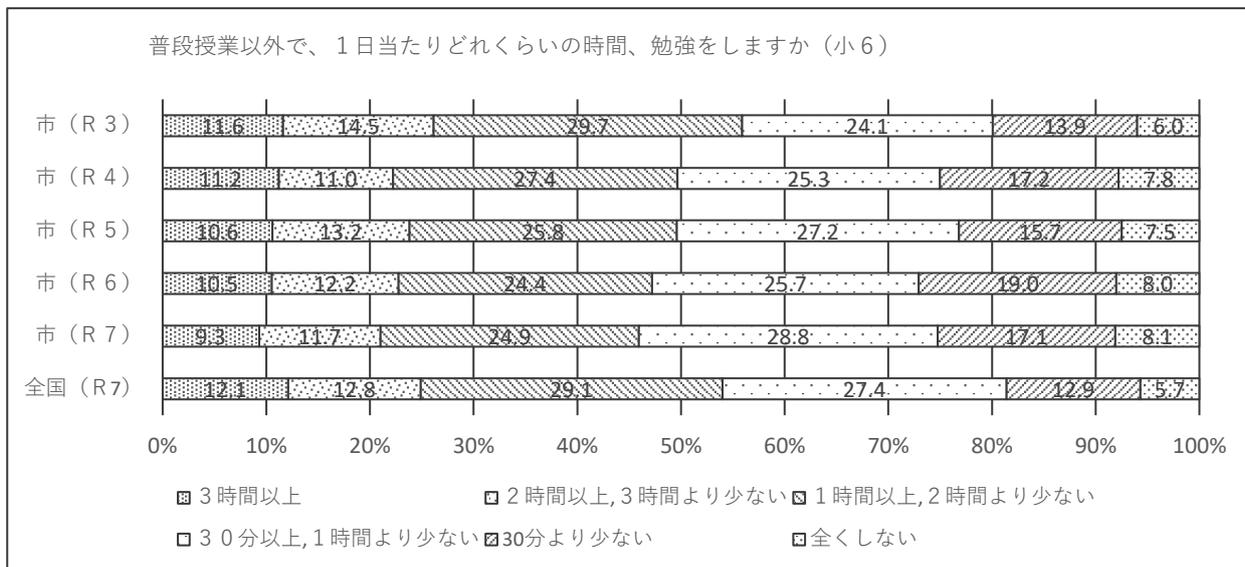
		D層の割合		C層の割合	
科目	区分	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度
国語	現状値	18.8%	27.6%	30.3%	20.9%
	目標値	17.8%以下	24.6%以下	28.5%以下	19.6%以下
	全国との差	+1.0	+3.0	+1.8	+1.3
算数	現状値	19.3%	17.5%	31.8%	27.9%
	目標値	20.1%以下	20.1%以下	29.1%以下	27.7%以下
	全国との差	-0.8	-2.6	+2.7	+0.2

② 中学校3年

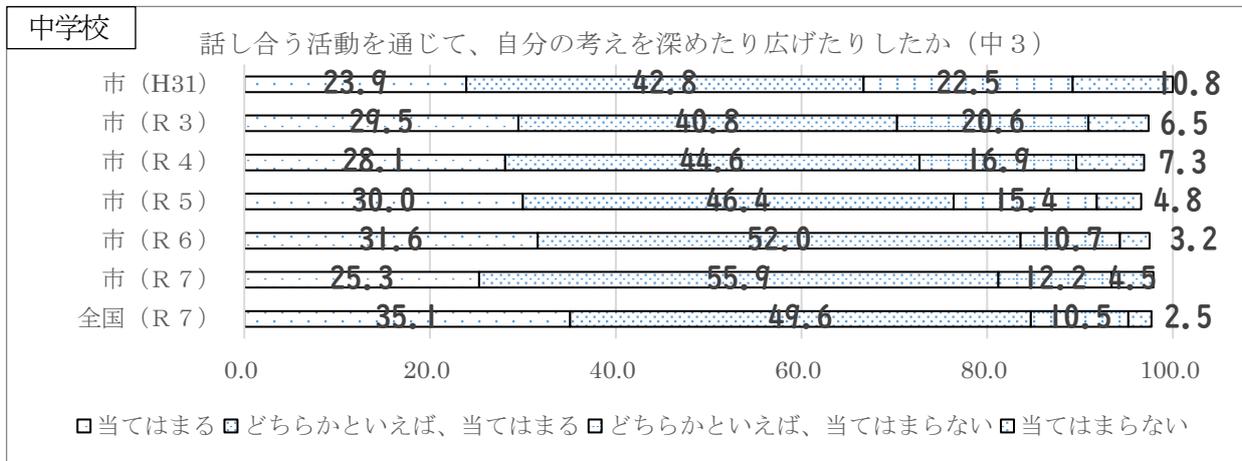
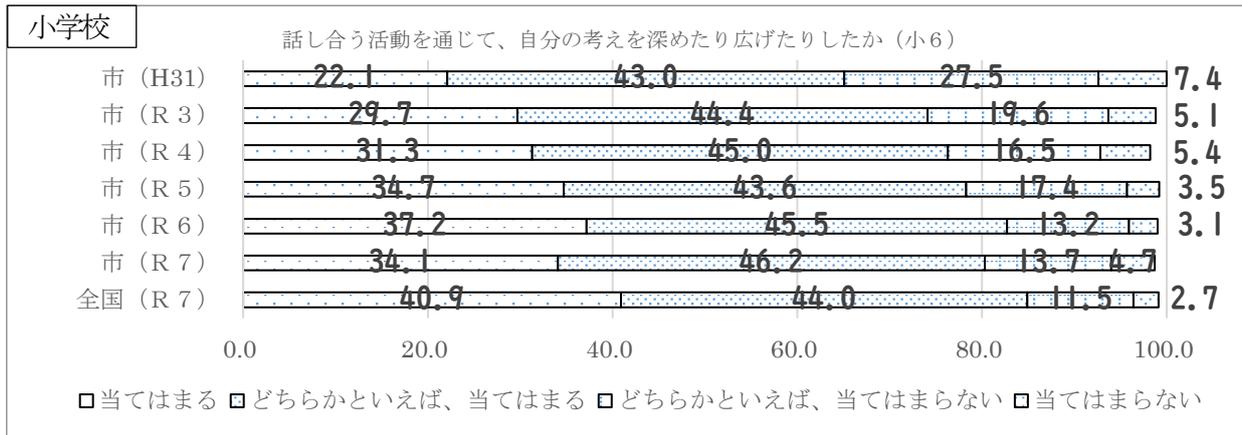
		D層の割合		C層の割合	
科目	区分	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度
国語	現状値	26.3%	20.6%	25.9%	26.7%
	目標値	22.5%以下	18.9%以下	24.2%以下	26.4%以下
	全国との差	+3.8	+1.7	+1.7	+0.3
数学	現状値	26.3%	20.4%	26.9%	24.5%
	目標値	23.8%以下	20.3%以下	23.3%以下	23.2%以下
	全国との差	+2.5	+0.1	+3.6	+1.3

(2) 質問項目に関する現状値

- ① 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。
 (学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



② 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。(再掲)



③ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。(再掲)

